

本年、伊日財団が倉設十周年をお迎えになることを心よりお祝い申し上げます。

伊日財団は倉設以来常にイタリアと日本の交流の推進に努めてこられました。倉設当初の2001年には「日本におけるイタリア2001」を企画運営され、大成功に導かれました。この「日本におけるイタリア2001」では、日本各地でイタリアを紹介する約800ものイベントが開催され、当時イタリアが国外行う行事として過去最大規模のものであったと承知しております。

伊日財団がこのような大規模なイベントを企画運営され、成功に導かれたことに敬服いたします。さらに、伊日財団におかれては、2005年愛知万博のイタリア館において各種企画の運営の調整などを実施され、素晴らしい成果をあげられました。

このイタリア館の「イタリア」の文字をお書きになられた篠田桃紅さんの作品展が本年2月に伊日財団のご尽力によってローマにて開催されました。私もこの篠田桃紅展のオープニング式典に参加させていただきましたが、その式典には多くの報道陣が詰めかけ、その様子が広く報道されました。私は、この展覧会に深く感銘を受け、改めて伊日財団の企画運営力の高さに驚かされた次第であります。

また、伊日財団におかれては、2007年の「イタリアの春」に引き続き本年の「日本におけるイタリア2009年」の実現に大きく貢献されるなど、イタリアと我が国と文化交流の進展並びに友好親善の増進に尽くされています。日本人にとってイタリアという国は憧れの国であり、日本人は大変大きな関心を持っています。一方でイタリア人にとって日本という国は、遠い国、なじみのない国、というイメージがまだまだ強いようにおもいます。私は、このような日本のイタリアに対する「片思い」の状況を改善し、もっとイタリアのみなさんい日本を知ってもらいたいと強く考えております。

そのため、在イタリア日本国大使館として、本年7月にローマ市の中心地のテベレ川の中州の島であるティベリーナ島において、「Japanitaly」という日本紹介イベントを実施いたします。このイベントの実施において伊日財団から多大なご支援をいただきました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。これからも伊日財団のご支援を賜りながら、このようなイベントを積極的に実施したいと考えております。

今後とも、伊日財団が倉設以来10年間で培ってこられた経験や実績などを活かして益々発展されることを願っております。又、引き続きイタリアと日本の文流の推進のために、伊日財団がその持てるお力を存分に発揮され、ご活躍されることを期待しております。

在イタリア日本国特命権大使

安藤 裕康